

**検索 TIPS** 昨年度のノーベル賞テーマ “体内時計” を検索してみました。

JDreamIIIの検索事例を JDreamIIIの部屋でご紹介していきます。この時期と言えば、ノーベル賞発表ですが、昨年受賞した医学生理学賞のテーマである”体内時計” は、睡眠障害や肥満など、私たちの健康に大きく関わっていると言われていています。仕事を進める場合でも体内時計を良く知り、高いパフォーマンスを進めることができれば、効率的に業務を行えます。今後の研究促進が期待されるテーマということで、JDreamIIIの可視化機能を利用して調査してみました。

まず、キーワードとして “体内時計” は JST シソーラス用語として登録されており、同義語を含め検索すると、8,289 件がヒット。この集合の件数を少し減らすため 2008 年以降の文献に限定した 4,592 件を対象集合とし、発行年別文献数、機関別文献数、分類別割合で可視化してみました。

■ 検索式

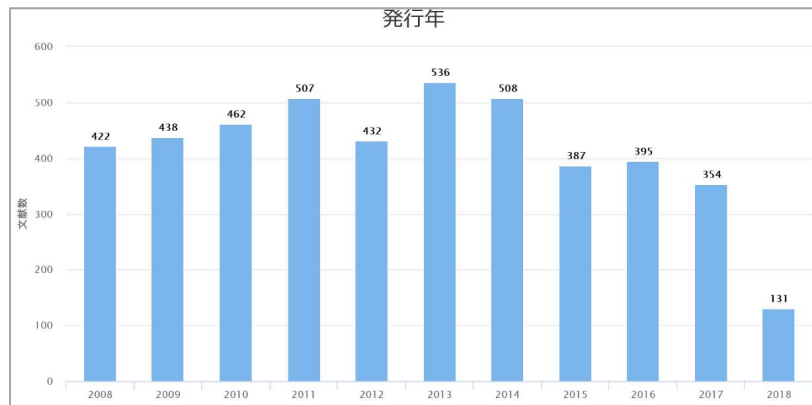
検索対象ファイル： JSTPlus+JMEDPlus

検索式："体内時計"/AL OR "生体時計"/AL OR "生物時計"/AL OR "Biological Clocks"/ALE OR "liological clock"/ALE

発行年：2008 年以降

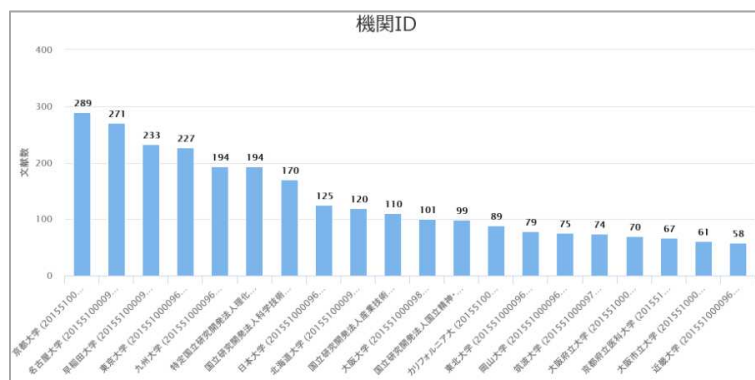
■ 可視化結果

① 発行年別文献数



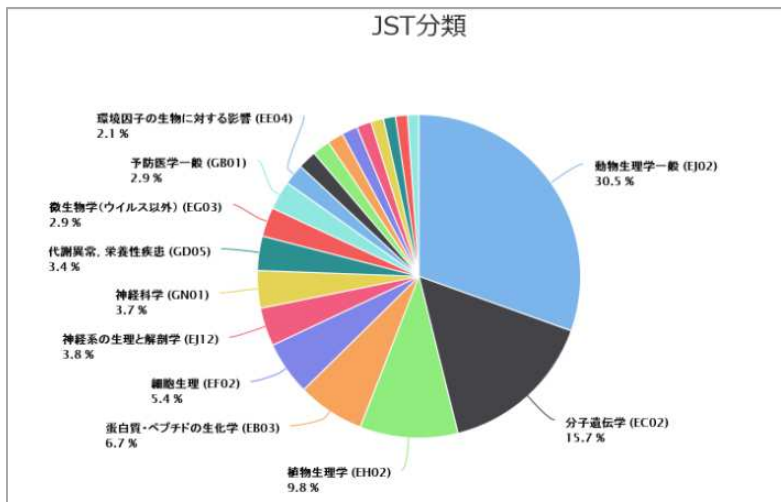
文献数は 2103 年ごろを 500 件ピークに最近 は 400 件弱で落ち着いています。

② 機関別文献数



研究機関としては京都大学、名古屋大学、早稲田大学の順で、

### ③JST 分類別割合



生理的な研究が 50 程度%で遺伝子研究が 15%という結果でした。

最近の文献では、2016 年からオーファン G 蛋白質共役受容体(GPCR)のひとつである **Gpr176** について京都大学が文献での発表を行っており、今後の研究活動の促進が期待されます。

今年のノーベル賞はどのようなテーマが選ばれるのでしょうか。

また JDreamⅢの部屋でご紹介して参ります。